

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372300752
事業所名	グループホーム悠遊荘

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	利用者が単独で外出して行方が分からなくなった事例がある。地域の協力があって利用者は無事ホームに帰ることができたが、地域の協力者は「当たり前のことをしてだけ」と、礼を断られた。 これまでのホームの地域への取り組みが実った例であり、地域が確実に成長してきている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	訪問介護の看護師が運営推進会議に出席することが可能となり、課題であった「知見者」枠の参加が実現した。 家族の関心事である「終末期・看取り」について、熱心な意見交換が行われている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	市の担当者と地域包括支援センターの職員が毎回運営推進会議に出席しており、ホームの状況が行政に伝わっている。 市役所にもことあるごとに顔を出しており、良好な関係が継続している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	ホームで看取りを行う場合、ほとんどの家族が「最後の何日かは利用者と共に過ごしたい」との願いを持っている。ホームには畳のフリースペースがあり、ここが家族の宿泊場所として提供されている。 利用者の過去から現在までをつづった「メモリーブック」があり、家族からも大好評である。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	○	○	○	○	○	○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。